

歯学部附属歯科技工専門学校
令和4年度自己点検・評価及び学校関係者評価 報告書

1 目的

歯学部附属歯科技工専門学校（以下「本校という」）において実施した自己点検・評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について、学校外の関係者による評価を行い、自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、本校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ることなどを目的とする。

2 基本方針

本校において、自己点検・評価を実施し、「専修学校における学校評価ガイドライン」（文部科学省：平成25年3月策定）を参照し、複数名の評価者により本校の学校関係者評価を行うことを基本方針とする。

① 自己点検・評価の実施

本校において、点検・評価項目を4項目設定した。

学校関係者評価実施前に、本校において、各点検・評価項目について自己点検・評価を行い、その結果について以下の4段階の取組評価をし、「自己点検・評価及び学校関係者評価票」（様式2）を作成した。

(A:十分できている, B:おおむねできている, C:一部改善が必要, D:できていない)

<点検・評価項目>

①資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置付けはあるか。
②学生の生活環境への支援は行われているか。
③学生の募集活動は適正に行われているか。
④【重点目標】授業評価の実施・評価体制について。

② 学校関係者評価の実施

(1) 評価者による評価は、本校からの提供資料によるほか、授業、学校行事等の見学、校長・教職員及び学生との面談により行った。

(2) 本校から「自己点検・評価及び学校関係者評価票」（様式2）の各評価項目についての資料等を提示し、評価結果及び取組状況等を評価者に説明した。

(3) 各評価者が、評価結果について「自己点検・評価及び学校関係者評価票」（様式2）にまとめるとともに、取組評価を以下の4段階で評価した。

(A:十分できている, B:おおむねできている, C:一部改善が必要, D:できていない)

- (4) 評価者の互選による代表者は、各評価者が記述した「自己点検・評価及び学校関係者評価票」(様式2)を取りまとめ、「自己点検・評価及び学校関係者評価報告書」(様式1)にて評価結果(総評)を作成した。

3 学校関係者評価協議会構成員

① 評価者

(1) 卒業生

石川 功和 (昭和49年歯学部附属歯科技工専門学校卒業生)

(2) 学校の専門分野における関係団体・関係業界

小笠原 明 (東京都歯科技工士会副会長)

(3) 地域住民

椎名 芳江

② 日本大学歯学部附属歯科技工専門学校関係者

高津 匡樹 校長

小泉 寛恭 教務主任

今井 秀行 副教務主任

市川 裕美 専任教員

木内 香 専任教員

岡村 佐恵美 教務課主任

4 学校関係者評価協議会開催日時

① 第1回 令和4年10月21日(金) 午後4時～5時15分

② 第2回 令和4年12月7日(水) 午後6時50分～8時

③ 第3回 令和4年12月16日(金) 午後4時～5時

5 評価結果(総評)

全体的に見て、教員数が少ない中で最善を尽くしていると思う。成績不振者や不登校の学生に対し補講、保護者との連携など、学生個々の諸事情も配慮し対応しているようだが、教員にとって負担も大きように感じた。また、学生募集のための学校訪問や、国家試験対策、授業評価も精力的に行っているのが感じられた。授業見学をした際、学生との信頼関係も構築されていると感じた。学生に寄り添うことができている環境は小人数ならではの大きな利点と考える。

以 上